

2021年3月1日

報道関係者各位

明治グループ長期環境ビジョン 「Meiji Green Engagement for 2050」を策定

～ 人も、地球も、健やかな未来へ ～

明治ホールディングス株式会社（代表取締役社長 CEO：川村 和夫）は長期的な地球環境の課題を認識し、持続可能な社会に貢献するため2050年に向けた長期環境ビジョン「Meiji Green Engagement for 2050」を策定しました。明治グループは本ビジョンのもと、地球環境とのエンゲージメントを通じて自然との共生を目指します。

明治グループの事業活動は、生乳、カカオ、乳酸菌や抗生物質に代表される微生物などの豊かな自然の恵みの上に成り立っています。そのため私たちは、地球環境と共に生き「自然と共生」していくことが責務であると考えています。しかし近年、気候変動問題をはじめとして地球環境の持続可能性が危ぶまれており、自然の恵みを生み出す生物多様性が危機的な状況にあります。そこで明治グループは地球環境とのエンゲージメントを通じて、将来にわたって自然と共生していくために長期環境ビジョンを策定しました。

本ビジョンでは、「気候変動」「水資源」「資源循環」「汚染防止」の4つを活動ドメインとし、それぞれに達成目標を設定しました。これらは自社だけで達成することが難しいことから、様々なステークホルダーと連携し、取り組みを進めます。



「Meiji Green Engagement for 2050」キービジュアル

各ドメインにおける達成目標は以下の通りとなります。

■気候変動

温暖化の進行により自然災害の激化や生物多様性への影響が懸念されているなか、脱炭素社会の実現に向け、温室効果ガスを排出しない経済活動への転換が求められています。国際的な枠組みであるパリ協定は、世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力をすることを求めています。

明治グループは、地球環境への影響のさらなる軽減を目指し気温上昇を1.5℃に抑えるパリ協定の努力目標にチャレンジしていきます。このため、サプライチェーン全体で温室効果ガス排出量を2050年までにゼロにする「カーボンニュートラル」の達成を目指します。

【達成目標】

- ・2050年までに、サプライチェーン全体でCO₂などの温室効果ガス排出量を実質ゼロにします
(カーボンニュートラル)
- ・2050年までに、自社拠点における総使用電力量に占める再生可能エネルギー比率100%を達成します

■水資源

世界の人口は2050年には97億人^(※1)に達し、増加した人口を支えるための食料生産や経済活動により、水需要量は約55%^(※2)も増大すると言われています。さらに気候変動に伴い慢性的な水不足や渇水の増加などによって、全世界の約40%^(※2)の人びとが十分な水にアクセスできなくなると予想されています。

水は地球上の限りある資源です。この限りある水を持続的に使い続けていくために、明治グループは水使用量を売上高原単位で半減するとともに水源涵養などの取り組みによって、「ウォーターニュートラル」を目指します。

※1：国連経済社会局人口部『世界人口推計2019年版（中位推計）』

※2：経済協力開発機構（OECD）『OECD環境アウトック2050』

【達成目標】

- ・2050年までに、自社拠点での水使用量の売上高原単位を2017年度比で半減します
- ・2050年までに、製品原料として使用する水を100%還元します（ウォーターニュートラル）
- ・自社拠点が立地する地域や、原料調達地域での水リスクの解決に取り組みます

■資源循環

限りある自然資本を使い廃棄し続ける今までの社会構造は、気候変動や森林減少、海洋プラスチック汚染などの環境課題を引き起こしてきました。そのため、自然資本の持続性を高めていくことが世界的に求められています。私たちも、製品や容器包装に自然資本を使い、自然の恵みを享受する企業として「サーキュラーエコノミー」に移行すべきと考えます。

その実現には、廃棄物のゼロエミッション化はもちろんのこと、再利用や再資源化による資源循環によって、使用する自然資本を最小化することが不可欠です。明治グループは、商品の設計から廃棄にいたるライフサイクルで、地球環境への負荷を限りなくゼロにしていくチャレンジを続けていきます。

【達成目標】

- ・製造工程での廃棄物のゼロエミッションを実現します
- ・再生材などを活用し容器包装に使用する新たな自然資本を最小化します

■汚染防止

地球環境を顧みず経済成長を優先した結果、現代社会は大気汚染や水質汚濁、化学物質汚染にさらされています。私たちも日常生活の中で汚染された空気を吸うことや食品を摂取することで健康被害のリスクが高まっています。

世界中の人びとに「健康」をお届けする明治グループは、汚染による影響のない世界を実現する必要があると考えます。そのため、私たちはサプライチェーン全体で環境汚染ゼロに向けた取り組みを推進していきます。

【達成目標】

- ・事業活動由来の化学物質による環境汚染ゼロを目指します
- ・サプライチェーン全体における環境汚染の課題解決に取り組みます

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

明治ホールディングス株式会社 IR 広報部

TEL: 03-3273-3917 メールアドレス: ir-info@meiji.com